

MDJ プレスリリース

MEDICAL FAIR ASIA / MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2016

ファイナルレポート



第 11 回 MEDICAL FAIR ASIA(シンガポール)は過去最高の規模だけではなく、商談の場としての存在感を示す

同時開催の MEDICAL MANUFACTURING ASIA も製造開発拠点であるシンガポールの地の利を活かし、活発な商談につながる

東南アジアにおける最大の医療機器、医療製品展示会である MEDICAL FAIR ASIA（同時開催は医療機器技術・部品展の MEDICAL MANUFACTURING ASIA）は、開催規模の拡張のため、新たにマリナベイサンズに隣接する the Sands Expo and Convention Centre にて、8月30日～9月1日の3日間、開催された。11回目の開催となる同展は出展者数、ビジター数ともに過去最高を記録し、出展者からの満足度も高いものとなった。

MEDICAL FAIR ASIA 2016 は 40 か国、830 社の国際色豊かな出展者の参加のもと、前回 2014 年比 30%増で開催された（MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2016 は 18 か国、200 社）。出展者は国際的なブランドでもある日立、Perry Baromedical や Swann-Morton をはじめ、日本を含む 17 のナショナル・パビリオンや地元シンガポールのローカル・メーカーなどによって構成された。ナショナル・パビリオンは新たにトルコとサウジアラビアが加わり、東南アジアのメディカル・マーケットが、更に外国企業からポテンシャルの高い地域として注目されていることが実証された。

ビジター数も増加し、過去最高を記録、ディストリビューターを中心に 12,000 名を数えた。そのうち 40%が東南アジア諸国をはじめ、インド、日本、韓国、中国、香港、台湾、オーストラリアなど、シンガポール以外からの来場であった。3 日間の会期中、商談も活発に各ブースで行われたが、今回、主催者が提供したマッチング・サービスでは会期前に 1,100 件のスケジュール調整が行われ、商談へとつながった。同サービスを利用した出展者からも、実際に商談につながるという評価の声があがった。

ここ数年の MEDICAL FAIR ASIA への出展者の興味は、同時開催の医療機器向け技術、部品展である MEDICAL MANUFACTURING ASIA にも向けられている。この 2 つの展示会はメーカーとサプライヤーとの関係をひきつけるプラットフォームであり、パートナー開拓を含め、様々なビジネスの可能性を秘めている。会期初日のセレモニーに来賓として参加したシンガポールの貿易産業大臣、イスワラン氏も「シンガポールは医療機器産業に関わる国内外の企業、研究機関に最適な場所であり、ゲートウェイである。同分野で市場が拡大する東南アジアにおいて、シンガポールはハブであることが認知され、研究開発や協業もアクセスしやすい立地だ」と壇上で強調した。

また主催者 Messe Duesseldorf Asia の代表取締役社長である G.リンリンは今回の展示会を次のように総括した。

「11 回目開催の MEDICAL FAIR ASIA では、いくつかの併催コンファレンスやイベントも開催され、よりエキスパートにメリットを提供する展示会となった。併せて多数の参加者から、同展で今後のビジネス発展に期待が持てる実質的な商談ができたとの報告を受けた。回を重ねるごとに同展の重要性が増してきている」

今回、日本から過去最高となる 4 つのパビリオンを含む 44 社（両展合計）が出展し、自社の製品、加工技術、部材を展示し、東南アジアを中心としたディストリビューターやメーカーとの商談を行った。出展者からの満足度は概ね高く、来場者の質の向上が回を重ねるごとに感じるという継続出展者もあった。以下、パビリオンの主催者、及び出展企業のコメントを紹介する。

2 年前よりシンガポールとバンコクの MEDICAL FAIR に継続グループ出展の[東京都中小企業振興公社](#)

「当公社としては 3 回目の出展となり、シンガポールやマレーシアを中心とした来場者と多くの商談を行う事ができました。今回は 6 社の企業が出展し、代理店候補からの見積依頼やデモ依頼等の具体的な結果に繋がっています。これまで東南アジアでの取引実績がない企業様にとっても、各国の市場性を確認するための有益な機会となりました」



昨年のバンコクでの MEDICAL FAIR に引き続いてグループ出展の[先端医療振興財団（神戸市）](#)



「3 日間で 600 件を超える商談を実施し、大盛況に終わることができました。具体的な引き合いも多く、参加出展企業からは、短期間で売り上げに繋がる案件があるとの報告もあり、全体として有意義な出展となりました。シンガポールには、大手医療機器メーカーのアジア拠点があり、東南アジアのハブであるということを再認識しました。

医療機器分野における東南アジア市場のポテンシャルは高く、神戸医療産業都市への進出企業の関心も高い為、引き続き来年の MEDICAL FAIR THAILAND 2017、再来年の MEDICAL FAIR ASIA 2018 についても、出展を検討したいと思います」

今回、MEDICAL FAIR ASIA と MEDICAL MANUFACTURING ASIA の双方に初めてグループ出展の[さいたま市](#)

「今回、MEDICAL FAIR ASIA と MEDICAL MANUFACTURING ASIA に、さいたま市ブースを設置し、それぞれ 3 社が出展しました。初めての出展でしたが、当初の予想を上回る反響がありました。

質の高いリードを獲得できた、日本には分からない生の情報を収集できたなど出展企業の皆様も満足されていました。さいたま市としても 2018 年に開催される次回展示会に向けて準備を進めて行きたいと考えています」



美容用医療機器を出展した[株式会社日本生物製剤](#)

「今回の出展の感想ですが、初出展のため初日は心配しておりましたが、2日目はお客様も多く、また、弊社の出展目的の一つであるシンガポールローカルの企業の来訪が多く、情報収集や商談も多くできました」

次回の MEDICAL FAIR ASIA、MEDICAL MANUFACTURING ASIA は 2018 年 9 月にシンガポールでの開催を予定しているが、来年 2017 年には同じく Messe Düsseldorf Asia 主催によるタイ、バンコクでの第 8 回 MEDICAL FAIR THAILAND が 9 月 6 日～8 日の日程で開催される。

MEDICAL FAIR ASIA 公式サイト：<http://www.medicalfair-asia.com>

MEDICAL MANUFACTURING ASIA 公式サイト：<http://www.medmanufacturing-asia.com>

MEDICAL FAIR THAILAND 公式サイト：<http://www.medicalfair-thailand.com>

その他、MEDICA 主催・共催のメディカル・フェア：<http://www.world-of-medica.com>

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp